



日本工芸会総裁賞
四分一象嵌打出銀器 前田 宏智(金工)



日本工芸会会長賞
線描幾何文花入 森田 由利子(陶芸)



文部科学大臣賞
絞り染訪問着「緑影の迹」小倉 淳史(染織)



日本工芸会奨励賞
有線七宝花瓶「躍動」池田 貴普(諸工芸)

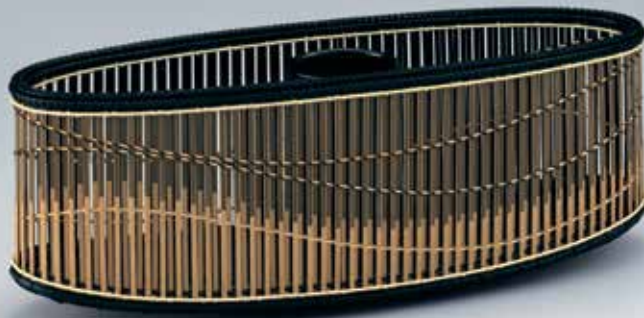
第65回 日本伝統工芸展 福岡展

2019年2月6日(水)▶11日(月・祝) 福岡三越 9階「三越ギャラリー」[入館無料]

開館時間/午前10時~午後8時 最終日は午後5時閉館 ◎主 催:福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、福岡市、NHK福岡放送局、朝日新聞社、(公社)日本工芸会 ◎助 成: 文シテ



高松宮記念賞
乾漆螺鈿天牛箱 したに ひとみ(漆芸)



日本工芸会新人賞
合わせ櫛目花籃「祥風時雨」久富 夢庵(木竹工)



日本工芸会奨励賞
木芯桐塑胡粉「雲錦」藤田 美智子(人形)



MITSUKOSHI

福岡 〒810-8544 福岡市中央区天神2-1-1
TEL/092-724-3111(大代表)
www.iwataya-mitsukoshi.co.jp

伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれ受け継がれてきた優れた技術を一層練磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目的に、昭和29年以来、毎年開催されています。第65回展は、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸（ガラス、硯、七宝など）の7部門に全国から1,517点の応募があり、622点が入選いたしました。福岡展では、重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品をはじめ、受賞作品16点を含む入選作品353点を展示いたします。



日本工芸会奨励賞
染付金魚鉢 小枝 真人(陶芸)



NHK会長賞
花織帯「クリスタル」 楠 光代(染織)



色絵雪花墨色墨はじき利休梅文鉢
重要無形文化財保持者 今泉 今右衛門(陶芸)



切嵌象嵌接合せ香炉「川霧」
重要無形文化財保持者 山本 晃(金工)



朝日新聞社賞
切金螺鈿箱「青麦」 金城 一国斎(漆芸)



日本工芸会保持者賞
櫻拭漆鉢 川口 清三(木竹工)



芭蕉布着尺地「赤染コーザーアキファテ柄」
重要無形文化財保持者 平良 敏子(染織)

作品解説 [期間中、毎日会場にて] (各回約60分)

- | | | | |
|-----------|--------|-------|-----------------------|
| 2/6(水) | 正午から | 〈金 工〉 | 山本 晃 (重要無形文化財保持者) |
| 2/7(木) | 正午から | 〈染 織〉 | 釜我 敏子 (日本工芸会正会員) |
| 2/8(金) | 正午から | 〈人 形〉 | 中村 信喬 (日本工芸会西部支部常任幹事) |
| 2/9(土) | 正午から | 〈陶 芸〉 | 岡田 裕 (日本工芸会山口支部参与) |
| | 午後2時から | 〈諸工芸〉 | 日枝 玉峯 (日本工芸会山口支部常任幹事) |
| 2/10(日) | 正午から | 〈陶 芸〉 | 福島 善三 (重要無形文化財保持者) |
| | 午後2時から | 〈木 工〉 | 菅生 均 (日本工芸会正会員) |
| | | 〈竹 工〉 | 岐部 笙芳 (日本工芸会西部支部幹事) |
| 2/11(月・祝) | 正午から | 〈陶 芸〉 | 今泉 今右衛門 (重要無形文化財保持者) |
| | 午後2時から | 〈染 織〉 | 築城 則子 (日本工芸会西部支部常任幹事) |

〈受賞者紹介〉

2/10(日)午後2時から 日本工芸会新人賞 〈木竹工〉久富 夢庵

※イベント等のスケジュールは都合により変更となることがございます。予めご了承ください。
※お子さまの安全のため、小学生以下の方々は、必ず保護者の方ご同件でご入館をお願いいたします。